第２次和泉市都市計画マスタープラン素案の概要

Ⅰ　計画の前提

〇現況調査
〇市民意向調査
〇上位計画・関連計画

都市計画の現状と課題

①人口構造の変化への対応

②地域特性に応じた土地利用形成

③都市のにぎわいと活力の創出

④持続可能な都市環境の実現

⑤自然環境や歴史文化遺産など和泉市らしい個性を活かした景観づくり

⑥まちの安全・安心の確保

⑦市民・事業者・行政の連携によるまちづくりの推進

Ⅱ　全体構想

都市計画の目標

将来都市像（未定）

都市計画の目標（未定）

都市計画の目標（サブテーマ）

〇豊かな自然や歴史・文化資源と調和した魅力的な都市づくり

〇まち全体の一体感を高める都市づくり

〇まちの活力を高める都市づくり

〇環境と調和した持続可能な社会を実現する都市づくり

〇ストック活用を重視した都市づくり

〇まち全体の安全性を高める都市づくり

〇市民と事業者・行政の協働による都市づくり

人口フレーム

都市構造

都市計画の方針

（１）土地利用方針

〇３区分、１２地区による土地利用
- 良好な住環境の形成を目指す住居系
- 周辺環境との調和に配慮した操業環境やにぎわいの形成を目指す産業系
- 自然環境や自然的環境の保全・活用を図る自然系

（２）交通の方針

〇交通需要に対応した幹線道路網の形成
〇生活道路の安全性の向上
〇交通施設の適切な維持管理
〇ユニバーサルデザインに基づく道路空間の形成
〇都市計画道路の見直し
〇環境負荷が小さく利便性の高い交通ネットワークの形成

（３）都市・自然環境及び歴史文化遺産の方針

〇緑とうるおいのある公園・緑地の整備
〇都市計画公園の見直し
〇南部の山間部や信太山丘陵市有地の緑の保全・活用
〇農地の保全・活用
〇都市施設等の緑化推進
〇河川の水辺環境の保全・活用と水質保全
〇環境負荷を低減する生活環境づくり
〇緑と調和した歴史的文化遺産の保全・活用
〇地域資源による観光ネットワーク形成
〇地域学習、環境学習の推進

（４）その他公共施設の方針

〇上水道施設の充実
〇下水道施設の充実
〇合併処理浄化槽の設置及び維持管理
〇ごみ処理施設の適正な維持管理
〇学校教育施設の充実
〇その他公共施設等の充実
〇市役所庁舎

（５）市街地・集落及び住環境の方針

〇中心都市拠点の整備
〇都市拠点の整備
〇地域拠点の充実
〇自然と調和した新市街地の都市機能の充実
〇地域の性格に応じた既成市街地の構築
〇土地区画整理事業の見直し
〇農山村集落の環境づくり
〇市営住宅の適切な維持管理と更新
〇オールドタウン化対策の推進

（６）都市防災の方針

〇治水・治山対策の推進
〇地震・火災対策の推進
〇防災にかかる市民意識の向上
〇防災体制の強化
〇消防体制の充実
〇消防水利の確保

（７）都市景観の方針

〇自然景観の形成
〇自然的景観の形成
〇歴史的景観の形成
〇地区の特性に応じた既成市街地景観の形成
〇質の高い新市街地の景観形成
〇良好な幹線道路沿道景観の形成

Ⅲ　地域別構想

北部地域

古代からの歴史資源、豊かな自然資源を活かし、誇りと愛着を育むまち

- 駅周辺や地域拠点のまちづくり
- 古い住宅団地や防災上問題のある市街地などでの、安全・安心なまちづくり
- 古代からの歴史、信太山丘陵の自然など資源を守り活かしたまちづくり

北西部地域

中心都市拠点としての機能が充実し、みどり豊かな空間や魅力的な地域資源を活かすまち

- 中心都市拠点、医療拠点としてのまちづくり
- 良好な住環境と働く場が調和したまちづくり
- みどり豊かな環境や地域資源を活かすまちづくり

中部地域

住宅地、市街地、集落の多様な魅力が混ざり合った、住み心地のいいまち

- 都市拠点、産業拠点、まなびの拠点としてのまちづくり
- 住宅地、市街地、集落のそれぞれの魅力を高めるまちづくり
- 自然環境を活かし、地域の交流をつくりだすまちづくり

南部地域

自然と共生しながら、都市農村交流により、地に足の着いた活性化を目指すまち

- 暮らしやすい地域づくり
- 活力を呼び込む地域づくり
- 地域活性化のための拠点づくり

Ⅳ　取組みテーマ別構想（案）

- 内容等については、現在検討中。（次回以降に提示予定）

Ⅴ　都市計画の推進方策

- 住民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進
- 効率的な都市計画行政の推進
- 都市計画マスタープランの進行管理